

議 事 録

会議の名称	那珂川市総合運動公園に関する地元説明会		
開催日時	令和 8 年 5 月 27 日（水） 19：00～20：00	開催場所	中央公民館
出席者	11 名（後野区・恵子区・道善区） スポーツ課 松野課長 （運動公園企画担当）石井係長・副島・久保山 （運動公園公務担当）小林係長・米倉 契約事業者 8 名（以下、事業者）		
配布資料	別添のとおり		
内容			
1. 運動公園の事業概要の説明			
2. 質疑応答			
参加者：運動公園周辺の狭い道路はどのような計画か。 また、照明や監視カメラの配置はどうなるか。			
市：運動公園東側の道路は幅員が狭いことは把握している。緊急車両が園内を通れる幅を確保できるような整備を検討している。 照明については、照明がどこまで照らされるかを検討し、周辺の住民になるべく迷惑をかけないよう計画を進めたい。 防犯カメラについては、運動公園の死角になる場所に設置する予定であるが、住宅の方に向けないよう気をつける。			
参加者：工事が始まっており、ほこりや音がひどい。 周囲に木や壁を配置すると聞いていたが、その計画は無くなったのか。			
市：設置に向けて周辺の住民の方と協議を実施したいと考えている。			
参加者：先に設置していただけると助かる。			
市：最終的に出来上がるものを先に設置するのか、仮設で建てるのかなど、ほこりなどが周辺に飛散しないような対応を進めたい。			
参加者：地盤が粘土質であり、土を搬入している時に家がかなり揺れた。 地盤の調査や揺れの対策、壁などが割れた場合の補償はあるのか。			
事業者：現在、地質調査を実施している途中である。その部分は承知しており、話をさせていただきながら対応を検討していきたいと考えている。			

参加者：工事はどのくらいの期間で行うのか。

事業者：1期部分は令和8年9月もしくは10月ごろから実施し、令和10年の3月ごろ完了予定で考えている。

参加者：工事はどのようなイメージか。土を盛るようなものか。

事業者：土を盛るイメージになると考えているが、現在計画している段階である。詳細が分かり次第、このような形で説明を実施したい。

参加者：なるべく揺れないようにお願いしたい。

参加者：仮の土を盛っている際の砂ぼこりがひどい。

外壁やサッシ、屋根上の太陽光パネルも掃除が終わらないくらいである。定期的もしくはある程度終わった段階で清掃に入ってもらえないか。

市：清掃については検討したい。

砂ぼこりについては、意見を多くいただいている。散水など対策を今まで以上にしていきたい。

参加者：1階部分がひどいため、仮のフェンスなどがあれば変わるかもしれない。検討をお願いしたい。

参加者：新しい弓道場とメイン広場の間の道から住宅の方へ道路が続いているが、イベントなどで抜け道になることが不安である。

市：車両を通す予定はなく、歩行者や自転車程度が通れるゲートを設置する予定であり、周辺の住民の方の意見を聞き対応したいと考えている。

参加者：その箇所の夜は施錠するのか。夜中通られると不安である。

事業者：人の部分の施錠は考えていない。車が通れるゲートとなれば、バリケードやポールを建てるなどの検討が必要と考えているが、現時点で車が通れるゲートは考えていない。

市：出入りできないように通路を設けないことも検討の余地があるが、通路が無くなると、近くにあるのに運動公園に入れなくなることも考えなければならない。近隣の方と意見交換しながらどのような形にするか検討したい。

参加者：期間が令和25年3月までとなっているが、期間終了後はどうなるのか。

市：その期間までに、今後の運営をどうするか検討し、より良い運営の仕方や再整備などを検討したいと考えている。

参加者：のるーとの停留所が南側に増える予定はあるのか。

市：関係する課と連携し検討する。現状は、運動公園線入口付近に停留所を設けられないか話をしている。

参加者：照明が点灯するのは営業時間までと考えるが、何時まで営業するのか。

市：市の社会体育施設と同様に、21 時もしくは 21 時半を考えている。
具体的な時間については、今後検討し整理する。

参加者：施設利用の予約方法はどうか。ネットでできるとよい。

市：オンラインで手続きができるように考えている。オンラインが難しい場合は窓口で予約できるように考えているが、どのような運用が適切かは事業者と検討していく。
補足として、他の施設は現状オンラインや電話で予約可能である。

参加者：防災拠点になっていると思うが、クーラーや暖房がつく屋内部分が少ないと感じている。物資をやり取りする場所であり、避難所のような大人数が寝泊まりする施設ではないのか。

市：災害時の対応については、フレキシブルコートを物資の輸送拠点と位置づける運用で考えている。
ただし、大規模災害時は一時的な避難場所として、クラブハウスやグラウンド内、観客席などの利用を考えている。
避難が長引く場合は、隣接する市民体育館が避難場所に指定されており、そちらに避難を促す形になると思うが、詳細は関係課と詰めていく。

参加者：カフェは入るのか。

市：飲食については、付帯施設で提供予定である。

参加者：キッチンカーで飲食は可能ということか。

市：その通りである。

事業者：常設ではなくイベント時を想定している。長い期間運営するため、地域の皆さんの声を反映できれば良いと考えている。

市：トレーラーハウスとキッチンカーを分けて考えている。
トレーラーハウスは常にある。どのような運用かは検討するが、飲食を提供する予定である。

参加者：トレーラーハウスは常にあり、キッチンカーなどはイベント時に呼ぶという認識で良いか。

事業者：トレーラーハウスをどこにどのような形で設置するかは検討中であり、1 つの目的というより、色々な用途で使えるものとしたい。イベント時などのキッチンカーなどによる飲食提供は想定している。

参加者：のるーとの拠点の話があったが、現在、体育館の前に乗り場がある。
運動公園の入り口側にも乗り場を考えているとのことだが、今の場所と近すぎると思う。南側にあれば便利が良いと考えている。

市：既存の乗り場との位置関係や利用しやすい場所を関係課と協議し、進めていきたいと考えている。

参加者：駐車場について、ゴルフ場への道は交通量が多く、駐車場の出入口が混まないか。また、後野区の抜け道になると困る。

市	：駐車場の敷地を長くとり、道路に車が滞留しないよう対応したいと考えている。 抜け道側の駐車場は、周辺の住民の方の迷惑とならないよう検討を進めたいと考えている。
参加者	：那珂川市民の健康と安らぎを育む運動の森公園と掲げてあるが、那珂川市の住民のためのものにとらえてよいのか。もしくは、大会を誘致するところまで考えているのか。
市	：まずは市民の方に利用していただきたいと考えている。その中で、新しい人工芝のコートや、陸上トラックなどは市のスポーツ団体と協議しながら進めている。市民に向けた施設であることは変わっていない。陸上の中体連などの大会が実施される可能性があるが、根底としては、市民の方向けの施設であると考えている。 補足として、スポーツ団体の利用のみではなく、市民の皆さんに喜んでいただけるイベントなど頻度を含めて検討していきたい。
参加者	：高低差はどうなるのか。
事業者	：敷地の南と北で約 10m 差が出る。詳細な設計中であり、極力、周りと地形の調和がとれるよう考えたい。
参加者	：大雨が降った時は大丈夫か。
事業者	：大雨時の計画、計算を実施している。北側が低くなるため、地下に調整池を設置する予定である。
参加者	：月曜日の説明会の参加者から、南側の駐車場が計画されたことで、生活道路に車が増える心配の声が届いている。 大きなイベントをするときだけ開放するという方針があるようだが、厳格にお願いしたい。 また、全体的に駐車場が足りるのかと思った。今後、近隣の林などを駐車場用地として拡張する可能性や方針があるか知りたい。
市	：駐車場の拡張については、近隣の林を買収するなどの予定はない。 大会時はサブ広場を開放し、駐車場として使うと累計で 400 台以上の車が停められることとなる。 近隣のミリカローデン那珂川以上の駐車台数を確保できるため、充分ではないかと検討を進めている状況である。 生活道路への影響としては、出入口の向きを生活道路へ行きにくい向きや構造にするなどの検討を進めている。
参加者	：西側の道路へは行きやすくなるのではないか。
市	：看板やルール of 徹底、駐車場を常時開けないなどを考えたい。

補足として、駐車場については、大会時のみ開放するか予約が入ったら開放するか、その回数が何回なのか等はこの場で約束はできない。ただし、区の狭い道路を抜け道として使わないようにという課題は認識している。また周辺の方々に説明する場面があると思う。

文責：久保山